

特許紹介

第21巻第9號 昭和10年9月

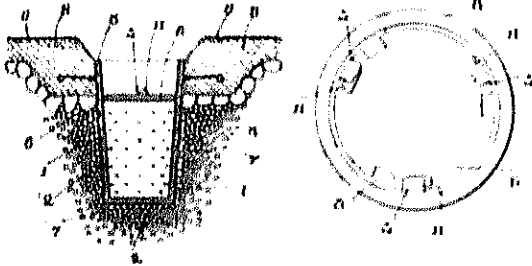
水壓利用地下水検査方法

(特許第111090號 出願9-12-29)
特許権者(發明者) 高田第一

此の發明は、特許第105514號(本誌第20巻第6號第017頁参照)の追加改良發明で、原發明に於ては、集水筒内に豫め栓體を容置し、之を後に集水筒上に載設せる截頭圓錐形等の上部狹き栓塞筒内に引上げて閉塞せしめたるに對し、本發明に於ては、内周面に止片(4)を

第1圖

第2圖



具した倒截頭圓錐形等の上狭がり錐形の栓塞筒(3)を設け、之に止片通過用切缺(4)を周圍に有する栓塞盤(6)を上方より挿入し、止片(4)と楔片(11)とを以て緊定するやうにしたもので、原發明に比し構造簡單、製作容易、取扱操作簡便ならしめ、且つ地下水の採集を完全ならしめたものである(第1圖、第2圖)。

コンクリート杭の築造装置

(特許第111175號 出願9-12-17)
特許権者(發明者) 山本利雄

此の發明は、第3圖、第4圖に見る如く、下端に閉式螺穿錐(2)を有する外管(1)に内管(5)を螺合せしめ、内管の下端にその軸轉運動が無關係に閉閉し得る。押壓器を具備せしめた、コンクリート杭の築造装置であつて、押壓器付内管は、充填材の供給及押壓の兩用途に使用され、螺合外管の抵抗力は押壓器の充填材抵抗力に利用される故強力なる杭を築造し得る。

水硬セメントの性質を改良する方法

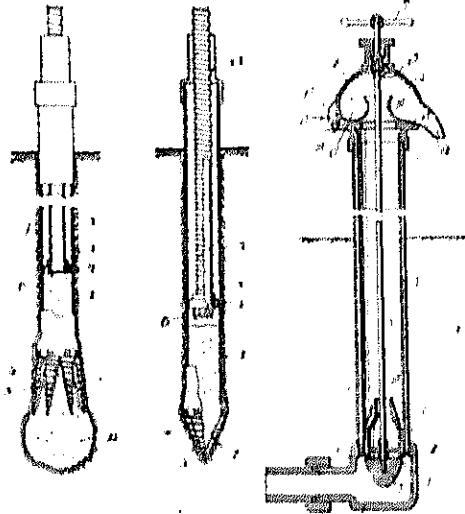
(特許第111176號 出願9-12-17)
特許権者(發明者) 山本利雄

此の發明は、有機キレン酸又は其の化合物及び誘導體をセメント或は混合水に添加する方法であつて、之に依つてモルタル、コンクリート又はセメントの可塑性を増大し、且つ其の強度、化學的作用に對する抵抗性、水に對する不透水性等を簡單に改良せんとするものである。

第3圖

第4圖

第5圖



無揚水管不凍給水栓

(特許第111177號 出願9-12-17)
特許権者(發明者) 山本利雄

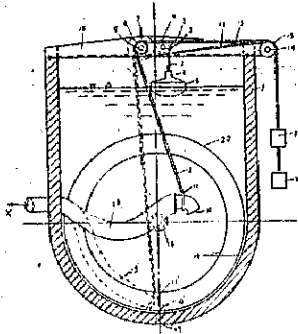
此の發明は、第5圖に示すやうに、壓力水管(9)に連通し、弁(3)に依つて閉閉せらるべき射水管(1)を上方に向はしめ、底面に周縁(11)を上方に彎曲せしめ、透孔(10)を有し、側面に吐水口(14)を有する受水筒(8)を射水管の上方に於て、透孔(10)を射水管(1)に對向して設け、射水管(1)に引水せる水を揚水管を廻すして透孔(10)を通して受水筒(8)内に受入れしめ、之を吐水口(14)より排出せしむるやうにした給水栓であつて、之に依る時は、弁(3)を閉塞しても、既に穿り通過せる水は、其の壓力に依つて上昇し、受水筒(8)内に入る故、揚水管を使用するものゝ如く多量に餘水を残すことなく揚水し得る効果がある。

均等混合液排出装置

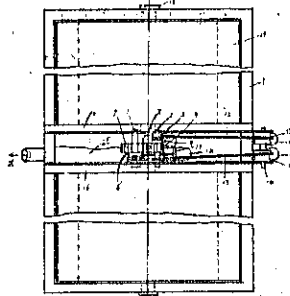
(特許第111178號 出願9-12-17)
特許権者(發明者) 山本利雄

此の發明は、同一の調節數を以て同一の壓力を有するコンクリート管を製造し得るから、抄造機に對し、等の調節を有する混合物の稠液を造り得る(第7圖、第7圖)を目的としたもので、混合物とする攪拌機に裝架した一對の楔材(10)及び(5)を抽抜して、一方の芯棒(2)に夫

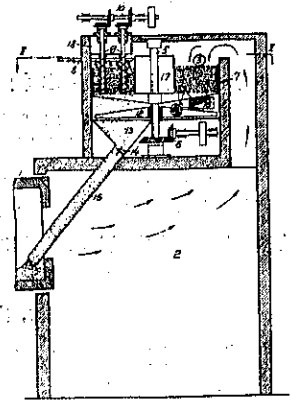
第 6 圖



第 7 圖



第 8 圖



滑車 (3) を装着し、他方の芯棒 (5) に小なる齒車 (7) と滑車 (6) を装着して、兩齒車を啮合せしめ、前記兩滑車には夫々一端を可撻排液管 (10) に固着せられ他端に重錘 (11) を具へる索綱 (12) と、一端を浮袋 (8) に固着せられ他端に重錘 (1) を具へる索綱 (13) を巻き懸けて、糊液を常に其の中心から流出せしむるやうにした混合液排出装置である。

乾燥加熱装置

(特許第 111174 號 優先権主張 R-1-8
特許権者 (發明者) クリスチヤン・ミツドルホエ)

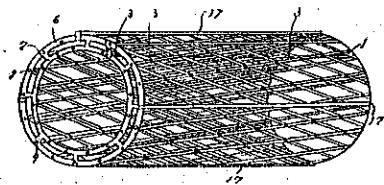
セメント原料を廻轉窯に送入する以前に、層を成し且つ相互に動き得る粒塊の面上に、セメント材料を分布して之を乾燥加熱する從來公知の装置に於ける改良であつて、ガスの透過し得る支持子 (4) 上に配置せられた上記粒塊層 (3) の一部の面上に、上記材料を連続的に分布せしめ、熱ガスが支持子 (4) 及び粒塊層 (3) を透過する間は、粒塊の相互運動を生じないやうにし、熱ガスに依つて乾燥加熱の了つた材料のみを、粒塊と共に撈拌して、材料を粒塊層 (3) 及び支持子 (4) の下方に落下せしむるやうにしたもので、從來のものに比し、被處理材料の乾燥加熱中に材料が撈碎せられて微塵を生ずることを防止し得るものである (第 8 圖)。

網状二重鐵筋組成材

(特許第 111201 號 出願 7-0-20
特許権者 (發明者) 高田守也)

此の發明は特許第 106534 號 (本誌第 20 卷第 8 號第 962 頁参照) の追加 (擴張) 發明であつて、連続せる内外兩輪より成る組立金具を用ひ之に扁平帶鐵を斜交状に絞結した網狀體を二重に組立てたものであつて、コンクリート管體の各部に普遍的に抵抗力を大ならしめんとするものである (第 9 圖)。

第 9 圖

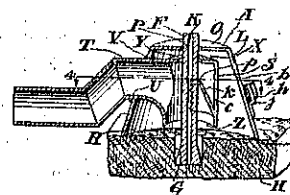


鑿岩機に組合はせたる粉塵偏向装置

(特許第 111308 號 出願 0-7-25
特許権者 ケリー・アットウエル・デヴァキロフメント・コーポレーション)

此の發明は、鑽 (F) を包圍し、且つ穿たれる孔を覆ふ様に設けたノズル (8) を有する鑿岩機に組合はせた從來の粉塵偏向装置の改良であつて、即ち岩石の上に載置せる支持構造物 (L) に依つて穿孔せられる岩石の面

第 10 圖



とノズルとの間に適當間隔を保有せしめて、ノズルへ空氣が自由に供給せられるやうにしたものであり、之に依つて、粗らき切屑が外部へ飛散するのを防止すると同時に、鑽孔の周圍に存在する粉塵及び外部に飛散する粉塵を有效に排出しやうとするものである (第 10 圖)。